

和光市立地適正化計画【防災指針以外に対するご意見と対応】

◇6月6日に開催した第5回策定委員会や、その後の大沢委員長・中村副委員長への個別確認における、防災指針以外についてのご意見に対する回答や説明資料は以下のとおりです。

第5回(6/6)策定委員会でのご意見

| No. | 発言者 | 意見 |
|-----|------|--|
| 1 | 杉尾委員 | ・各地域の実際の人口割合と比べて、アンケートでの回答割合はどうか。他の自治体における同様のアンケート調査では、回答者数はどの程度か。 |

対応内容

【対応内容1】

◇説明資料として、4地域におけるアンケート回答数と人口の割合を整理した資料を作成

本資料2ページ
参照

| No. | 発言者 | 意見 |
|-----|--------|--|
| 24 | 中村副委員長 | ・アンダーパスの危険性について、十分なシミュレーションができていないと思うが、下水道の処理能力を高めるなどにより対策を行っているのか。その際の降雨量をどの程度想定しているかも分かれば教えてほしい。 |
| 60 | 中村副委員長 | ・防災指針以外の「対応内容2」の資料では、既存の設備が記載されているのみで、その対応で十分なのか不十分なのかの評価がありません。評価を加えるべきだと思います。 |

【対応内容2】

◇説明資料として、市内のアンダーパス等におけるポンプ施設の概要や排水能力を整理した資料を作成

本資料3ページ
参照

| No. | 発言者 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 26 | 関口委員 | ・和光市は、昔は白子宿として栄え、武蔵野台地の始まりとなる場所に位置し、台地から湧き水が出ている等の特性がある。今回の案では、土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域は、居住誘導区域に含めないこととしているが、それら警戒区域の指定に関して、歴史的観点による例外的な特例規定はあるのか。 |
| 28 | 大沢委員長 | ・土砂災害に係る区域指定の際、例外規定が法文にあるか、念のため確認をお願いしたい。 |

【対応内容3】

◇確認を行った結果として、以下の内容のとおり

◇土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域は、土砂災害防止法及び同法施行令に基づき現地調査等を行い、現地の地形、対策施設の設置有無の状況、土地利用状況等に応じて、区域が指定されています。その際、付近の土地利用や歴史的経緯等に基づく例外規定は設けていません。

| No. | 発言者 | 意見 |
|-----|--------|--|
| 49 | 大沢委員長 | ・対象外となる1～2戸の住宅の取扱いについては、一度、庁内で議論していただくのが良いかもしれない。通常の立地適正化計画では対象外となるが、和光市としては、もう少し厳しく考え、居住誘導区域外での立地を予定する1～2戸の住宅に対しても、災害リスクの周知等の観点から、届出をしてもらうことも方法として考えられる。一方で、冒頭の議論でもあったが、他の届出も多くあるため、届出側と受領する市の双方がオーバーワークにならないことにも配慮しながら、考え方について整理いただくと良い。 |
| 57 | 中村副委員長 | ・立地適正化計画の届け出について、「行為に着手する30日前まで」となっているが、もっと早く、例えば90日前などに変更はできるのか。30日前であると、いろいろ指導しても手遅れになる可能性が想定される。検討をお願いしたい。 |
| 63 | 中村副委員長 | ・「行為に着手する」の「行為」として、開発許可申請や建築確認申請などの「申請」も「行為」とできるのであれば、「申請」内容の見直しを指導できる可能性があるため、30日前でも効果はあると思います。 |

【対応内容4】

◇他都市の事例等も踏まえ、本市の届出制度においては、以下の内容での運用を予定

◇全国の他事例においては、1～2戸の住宅を含めて届出対象とすることや、独自で期限を前倒しする都市は見られませんでした。その中、各都市が補足的に作成する「届出制度に関するQ & A」といった資料においては、届出制度の目的である建築位置の適正な誘導のため、開発許可申請や建築確認申請に先立ち、事前相談及び届出をお願いする旨を記載している都市もありました。

◇また、国土交通省関東地方整備局に対しても確認を行い、見解としては、法律上は30日前を期限としていることから、90日前とするなどの独自の考え方を考える場合は、条例での追加対応等が考えられるとともに、和光市として、明確な理由を用意する必要があるとの回答でした。

◇それらを踏まえ、本市としては、申請者に対して法律以上の過剰な負担を強い明確な理由を整理することが難しく、従来通りの3戸以上及び30日前までを期限とした運用を行うものと考えます。

◇そのような中、可能な限り届出制度が適切に運用できるよう、効果的な周知方法の検討や、届出制度のQ & Aで早期提出の働きかけを行う等の工夫を行うとともに、建築の審査部局等と連携して、庁内における各種申請の受理の体制・流れについても調整を図っていきます。

※「No」は、別紙「参考資料2：第5回策定委員会 議事要旨」に記載した通し番号

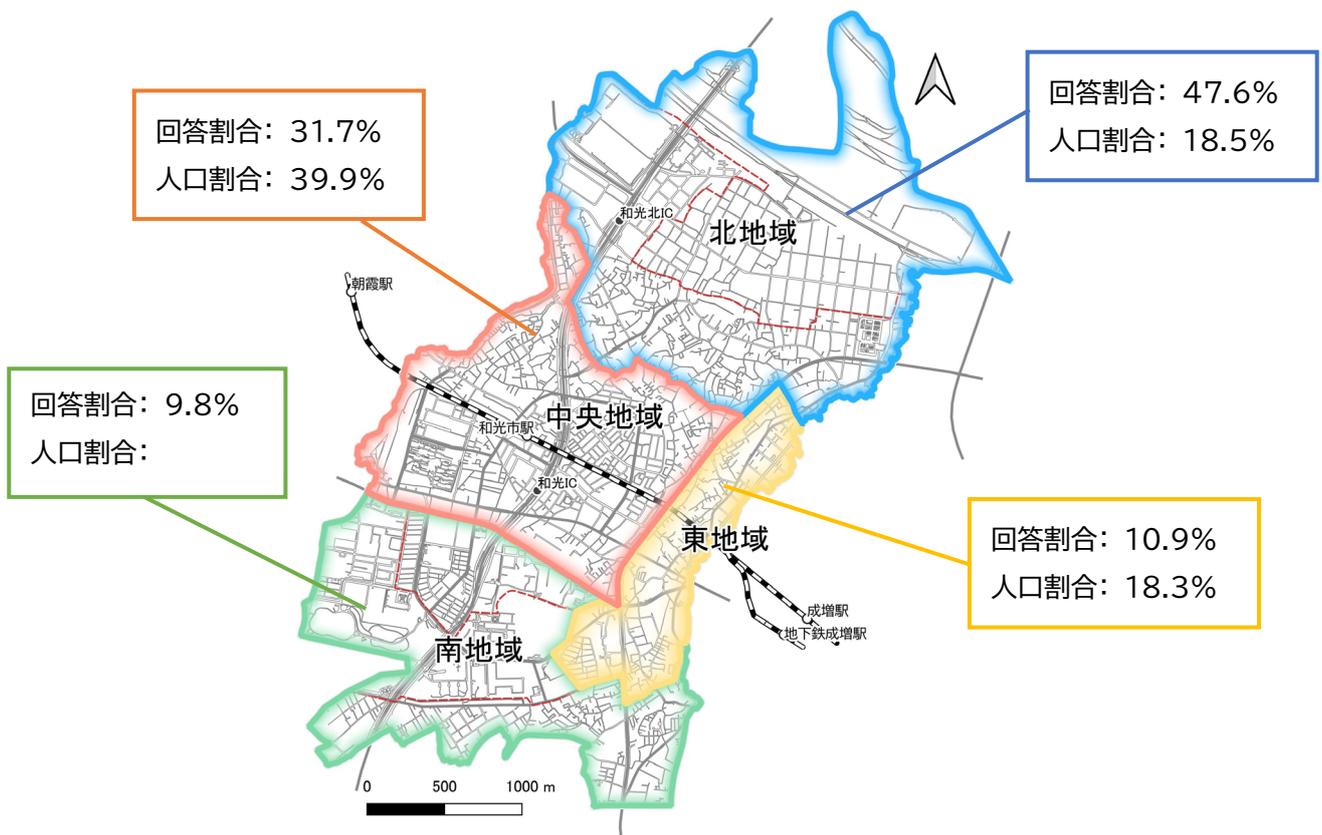
【対応内容1】

【参考】各地域におけるオープンハウスの回答と人口の割合について

- ◇2023年4～5月にかけて実施した、立地適正化計画に関するオープンハウスについては、市民の皆さまより総数183件のご回答を頂きました。
- ◇それらを都市計画マスタープランで示した4地域ごとに集計した結果は、下の表のとおりです。
- ◇開催場所として、イトーヨーカドー和光店、和光市図書館下新倉分館で実施したこともあり、それらが立地する北地域と中央地域での回答が多い傾向でした。
- ◇各地域の人口割合については、下の表のとおりであり、和光市駅周辺が含まれる中央地域が最も多い割合です。
- ◇今回の調査では、人口割合の高い中央地域での皆さまのご意見を伺えたほか、水災害等の災害リスクを多く有する北地域でのご意見も把握することができたものと考えます。
- ◇一方で、東地域、南地域に関しては、アンケートでの回答数が少なかったこともあるため、今後の市民意見を把握する機会である、市民説明会やパブリックコメントにおいて、丁寧な意見収集を心掛けます。

| | アンケート回答数 | 割合 | 人口 | 割合 |
|------|----------|--------|---------|--------|
| 北地域 | 87件 | 47.6% | 15,461人 | 18.5% |
| 中央地域 | 58件 | 31.7% | 33,472人 | 39.9% |
| 東地域 | 20件 | 10.9% | 15,331人 | 18.3% |
| 南地域 | 18件 | 9.8% | 19,562人 | 23.3% |
| 全体 | 183件 | 100.0% | 83,826人 | 100.0% |

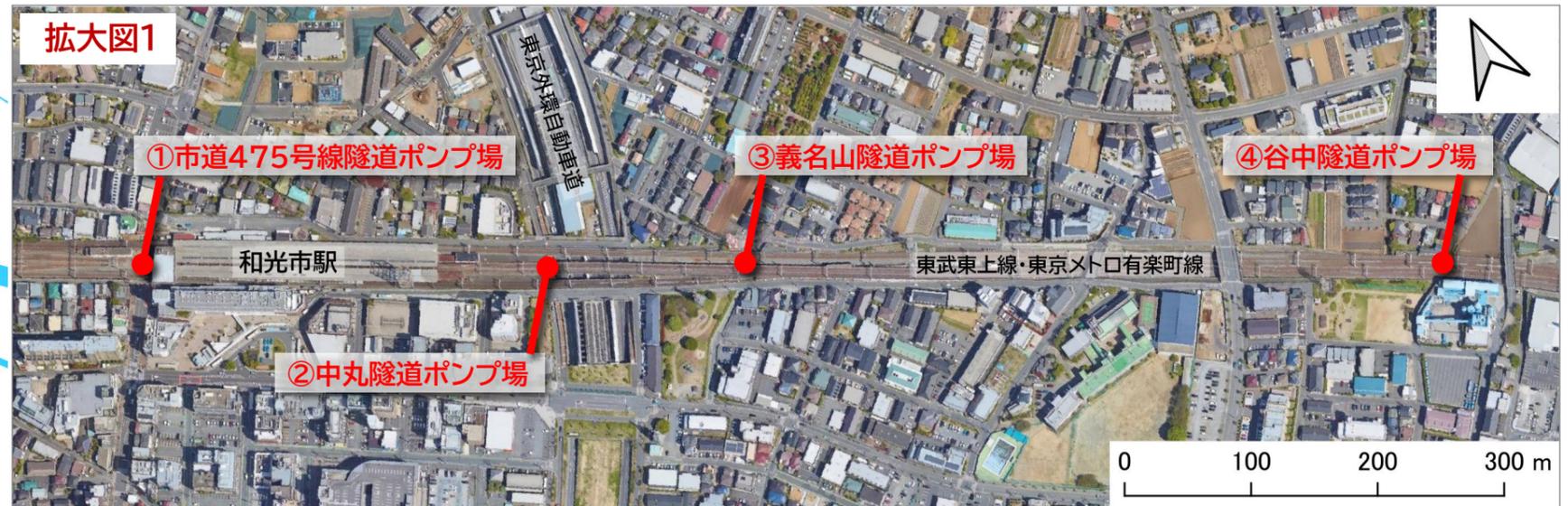
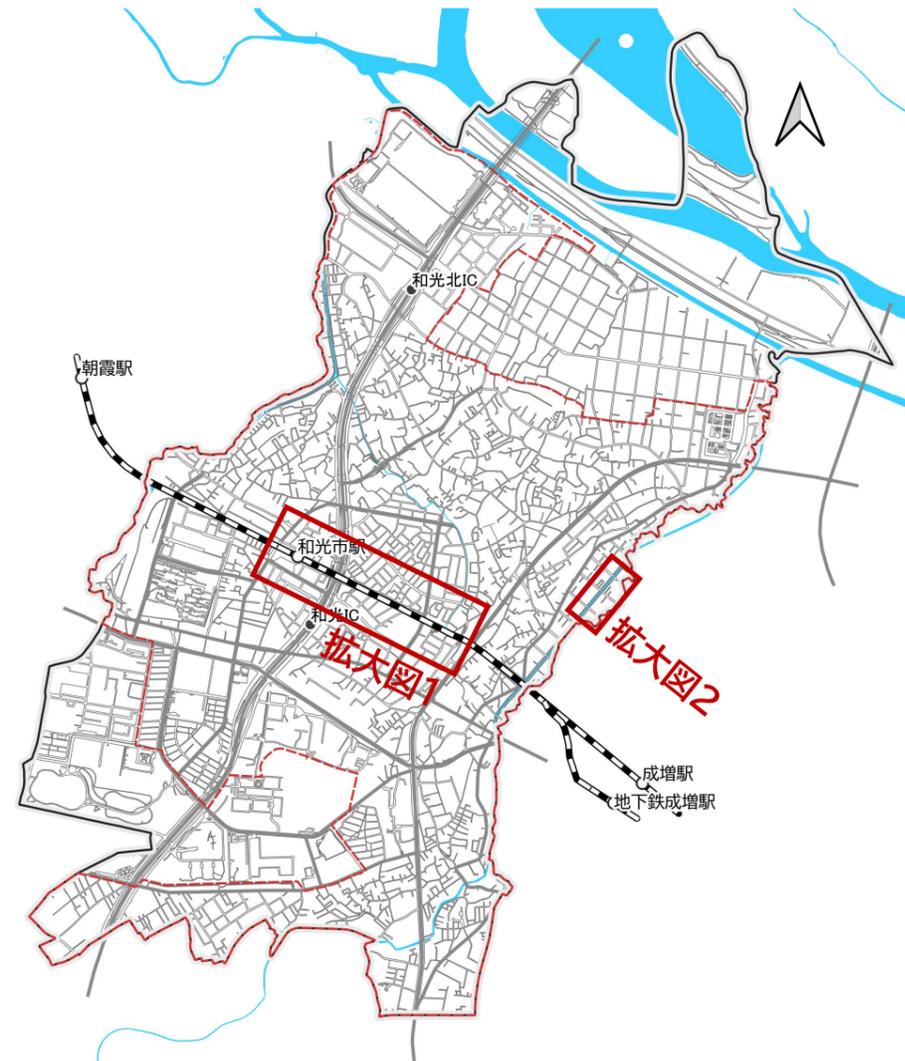
人口の出典：2020年国勢調査(和光市都市計画マスタープランより)



【対応内容2】

和光市内のアンダーパス等におけるポンプ施設の概要

◇市内には、鉄道のアンダーパスや河川流域において、8箇所のポンプ施設を設置しています。なお、これらポンプ施設を設置した全ての箇所において、排水能力を満たしている状況です。



| No. | 設置箇所 | | ポンプ通報装置システム | 防犯カメラ活用による監視 | ポンプ概要 | 吐出量(m ³ /min) 1台当たり | 全揚程(m) | 容量(m ²) {ポンプヒット容量} | 構造 | 内 訳 |
|-----|----------|-----------|-------------|--------------|------------|--------------------------------|--------|--------------------------------|---------------|-----------------------------------|
| ① | 市道475号線 | 駅前隧道 | ○ | ○ | φ150×15kw | 3.5 | 7m | 有効36.4m ² | コンクリートボックス | L5.0×W5.2×H1.4 |
| ② | 市道2012号線 | 中丸隧道 | | | φ80×2.2kw | 0.6 | 10m | | コンクリートボックス | |
| ③ | 市道2107号線 | 義名山隧道 | ○ | | φ100×5.5kw | | 7m | | コンクリートボックス | |
| ④ | 市道2206号線 | 谷中隧道 | | | φ80×2.2kw | 1 | 11m | 有効14m ² | コンクリートボックス | W2.5×L2.0×H2.0+ W2.5×L0.8×H2.0 |
| ⑤ | 市道396号線 | 水木橋 | | | φ150×22kw | 3.2 | 15m | 480m ² | コンクリートボックス及び管 | L7.5×W4.7×H3.8 φ1605×L84×2 |
| ⑥ | 市道397号線 | 藤ノ木橋 | | | φ150×22kw | 3.2 | 15m | 480m ² | ボックスカルバート | L25.5×W2.8×H7.2 |
| ⑦ | 市道398号線 | 白藤橋(和光市側) | | | φ150×22kw | 3.2 | 15m | 480m ² | コンクリートボックス及び管 | L4.0×W3.0×H4.0 |
| ⑧ | 市道398号線 | 白藤橋(東京都側) | ○ | | φ80×1.5kw | 0.5 | 3.6m | | | |

「ポンプ通報装置システム」：一定水位を超えた場合やポンプに不具合が発生した際にメールでお知らせするシステム